

火の魂カンパニーの仲間たちへ、7月の一ヶ月もお疲れ様でした。

そして7月は当社の決算月であり、共に力を合わせ第6期も無事に終了することが出来ました。これもいつも一生懸命働いてくれる皆さんのお陰です。本当にありがとうございました。

創業から振り返ってみると、2006年8月に下野市に麵屋穂華を創業し、2009年8月には株式会社火の魂カンパニーを設立、創業から数える9年も商売を続けさせて頂いていることになり、来期の8月には創業10周年を迎えることとなります。その創業10周年を迎える直前期でもある、今期は教育に時間を投資して、最高の10年目のスタートを切れるよう、人の成長にフォーカスを当てた1年にしていきます。

本当に、あっという間の9年間でしたが、我々、火の魂カンパニーグループとして10年を迎えられることは簡単なことではなく、日本全体の企業として見ても、設立5年で約85%の企業が廃業・倒産し、(100企業中15企業が生存する)、設立10年以上存続できる企業は5% (100企業中5企業が生存)、設立20年続く企業は0.3%、設立30年続く企業は、なんと0.02%(つまり10000社のうち2社しか存続していない)、それくらい企業が永続的に存続するのが難しいことが分かると思います。

それでは、なぜ火の魂カンパニーが今まで存続できたのでしょうか？

美味しいラーメンがあったからか？ それとも潰れないほどのお金が入り続けたからか？ なんだと思いますか？ 僕は企業が100年続かせる極意を先輩の経営者から教わって学んだことを社員と実行し続けたからなんです。

それは、商品やお金だけではなく、人を一番に大切にしたい考え方をベースに経営を実践しているからです。

人とは誰のことでしょう？ 人とは、当たり前なことですが、お客様を大切にすること、更にお客様を持て成す火の魂カンパニーの仲間たちである皆さん、取引業者である業者さん達も我々が大切にしたい人でありたいです。

最近、本当に思うことは、人を大切にしたい、自分の身の回りの人たちと、どれだけ信頼関係を築き、人間関係を豊かにできているかが、企業の存続の極意であると実感しています。

僕は、創業から自分が上手くいく事だけを考えていたのではなく、一緒に働いてく仲間がもっと豊かになるためにどうすればいいか？ や、業者さんがもっと豊かになる方法はどうすればいいか？ とか、共に働く仲間が困っているときは力になろう！ 業者さんが困っているときはお互い様と助け合おう！ そんなこと大切に9年間商売してきました。そんな周りを考えて商売してきたからこそ、僕が困ったときに、自分のことのように助けてくれる仲間や業者さんの皆に支えられて今があると思います。これって商売だけじゃないです。

これって、人生を豊かにする極意でもあるのだと人生の先輩から教わりました。

会社の経営も人生を歩んでいく上でも、良い時ばかりじゃないからね。

順境の時なんて、経営も人生も人との差なんて大したことはない、だけど逆境の時に大きな差が出るもんだ。

順境の時に、いかに周りに目を向けて、身近な人や大切な人たちを豊かにしたり、力を貸してあげたかで、逆境の時に自分に振り返ってくるものなのです。 困っている人がいたらお互い様、助けてもらったら「ありがとう」、そうやって身近な大切な人たちを豊かにできる企業をこれからも変わらず目指していきたいと思っています。

僕の人生は、そうやって多くの人に人の力になれる生き方がしたな〜といつも考えています。

皆さんは、どんな自分に成長して、どんな人生を生きたいですか？